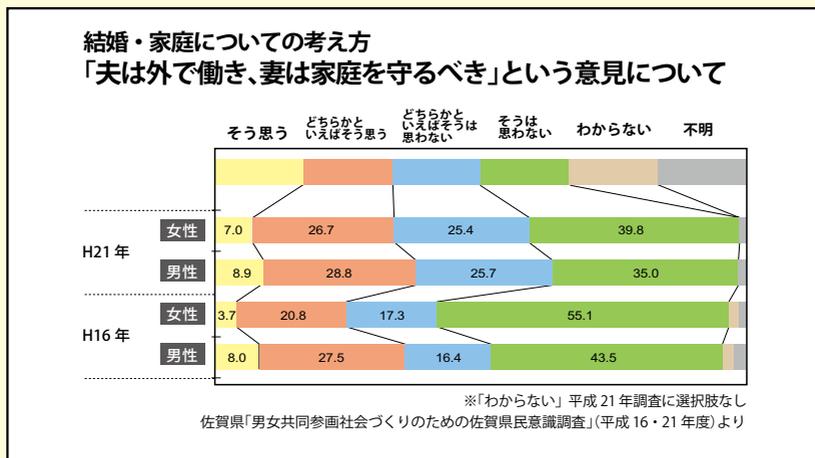


男女共同参画社会

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、佐賀県の平成16年度意識調査では「そうは思わない」と答えた人が女性では55.1%、男性は43.5%と、全国平均の女性24.2%、男性18.3%を大幅に上回りました(内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」平成16年11月)。しかし、平成21年度調査では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に「そうは思わない」と答えた人が、女性39.8%、男性35.0%と減り、「性別役割分担意識」がまだまだ強いことが明らかになりました。



結婚や家庭についての考え方や、女性の働き方も変わってきています。少子高齢化による生産年齢人口(15～64歳)の減少が今後いっそう進むことが予測される中、性別や年齢に関わりなく、誰もが個性と能力を發揮して経済社会に参画する機会を確保することは、労働人口を増やし、これまでになかった視点による新商品の開発など経済社会を活性化することにもつながります。

県をはじめ各市町で男女共同参画社会形成への取組みが進められていますが、一人一人の意識を変えていくことも重要です。日々の「くらし」の中から、男女共同参画を考える素材としてこのリーフレットをご活用ください。

男女共同参画社会とは

男女共同参画とは、男女が対等な社会の構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、共に責任を担う社会のことです。

職場、学校、地域などのあらゆる分野で、それぞれの個性と能力を發揮できる社会をつくっていくことが必要です。

“ありがとう 互いの良さを認め合う”

男女共同参画
川柳コンテスト
入賞作品

チェックしてみましょう

- 家族を養うのは男性の役割だと思う。
- 家事や育児、介護は女性だけの仕事だと思う。
- 妻が仕事をする場合、家庭に支障をきたさない程度にするべきだと思う。
- 残業している女性を見ると、「子どもや夫がかわいそう」だと思う。
- 家庭で物事を決めるときは、父親の意見が優先されるべきだと思う。
- 子どもの参観日や PTA 活動に出席するのは、母親の方がよい。
- PTA 会長や自治会長などは男性の方が向いていると思う。
- 男性が育児休業をとるのはおかしいと思う。
- 男性がお茶を入れることには抵抗がある。
- セクハラに敏感になりすぎると仕事がやりづらいと思う。

ひとつでもチェックがついたあなた、
男だからこうあるべき、女だからこうす
べきと思い込んではいませんか？

お互いを一人の人間として尊重する、
対等な関係づくりをしていきましょう。



“平等に 今こそ分担 たすけあい”

男女共同参画
川柳コンテスト
入賞作品

協力してできていますか？

～家事・育児・介護～



中途半端にせず責任
もって最後まで！

～女性の声を集めました～

「夫にやってほしいこと」

- ・ゴミ出し(分別して集め、出すまで全て)
- ・洗濯関係(洗う・干す・たたむ・しまう)
- ・食器洗い
- ・風呂掃除
- ・書類関係の記入(学校・役所関係など)
- ・子どもの世話や送り迎え
(塾、保育園・幼稚園、部活、病院など)
- ・親、親戚付き合い
- ・地域活動
(会合、清掃、行事、近所付き合い)…など



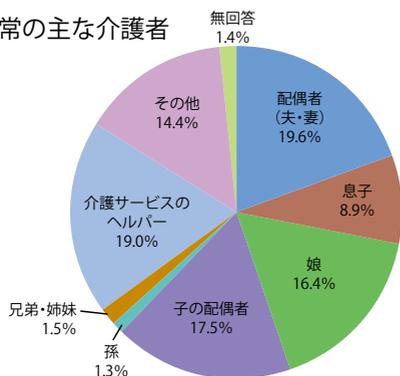
してほしいことは
たくさんあるけど、あなたが
自発的にしてくれればどんな
ことでもうれしいな♪



そっか…。
今まで任せっきりで
ごめん。やれることから
はじめてみるよ！

介護者の状況(佐賀県)

日常の主な介護者



佐賀県長寿社会課「佐賀県高齢者要望等実態調査」(平成22年度より)

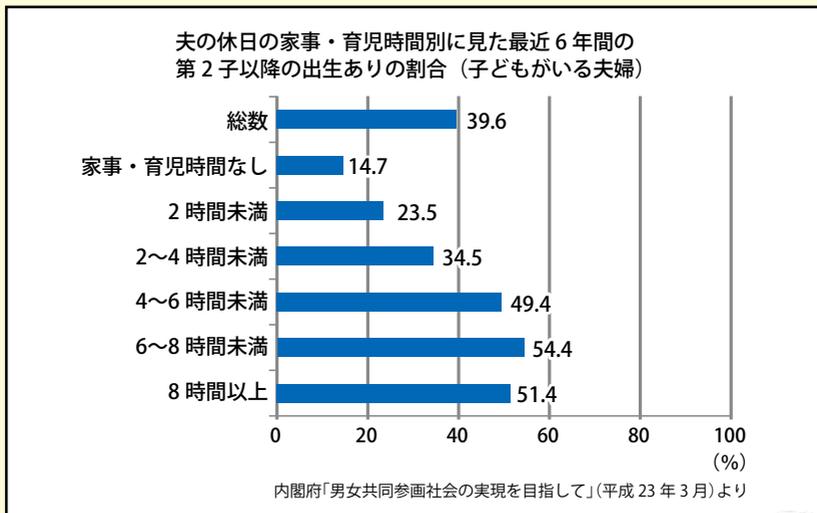
現在、日本は超高齢化社会を迎えており、介護は社会全体で考えていくべき重要な課題となっています。

介護者の割合を性別で見ると、三人に一人が男性といわれていますが、家事や育児と同様に女性への負担が大きい現状です。

一人で抱え込まずに、介護保険制度などを利用しつつ、みんなで協力していくことが大切です。

“家事育児 二人で一緒に ささえ愛”

男女共同参画
川柳コンテスト
入賞作品



女性が子どもを産むことを考えるとき、

- 一人目→仕事の調整ができたとき
 - 二人目→パートナーの協力が得られたとき
 - 三人目→経済的調整がとれたとき
- とよく言われます。上のグラフでも、夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高くなっています。



●じぶんのやりたいこと、後回しになっていませんか？

「じぶんの時間大切にしていますか？」 「じぶんの趣味続けてますか？」

「じぶんのやりたいこと大事にしていますか？」

家事・育児・介護などの負担が女性に偏りがちなため、結婚しても趣味を続けていることが多い男性に比べて、女性はそれが難しい現状があります。特に出産から子育ての時期は自分の時間がまったくとれないことも珍しくありません。子育てをつらく感じたり、夫への気持ちが冷めたりする原因にもなります。

夫も妻もそれぞれに、自分の時間、自分のやりたいことを大切にできるよう、家事の分担を見直してみませんか。

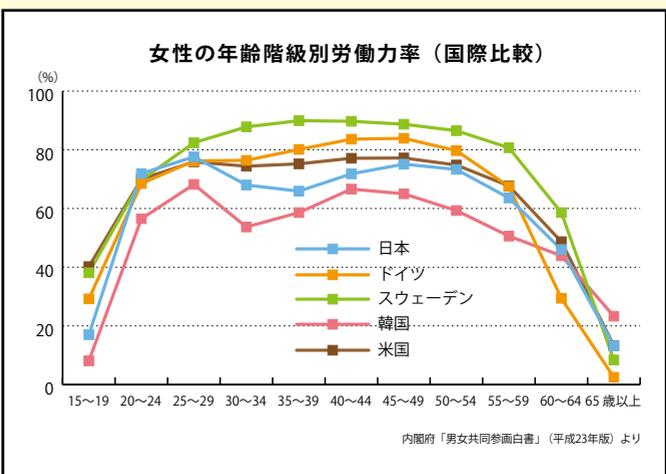
“履歴書に主婦歴も書き面接へ”

男女共同参画
川柳コンテスト
入賞作品



- 時間管理能力
- 共感力
- コミュニケーション力
- 交渉力
- マネジメント力
- コーディネート力
- プロデュース力

日本と韓国のデータを見ると、30歳代をくほみとするM字カーブを描いています。その理由は、「多くの女性が結婚や出産などで仕事をやめている」からです。しかし、欧米諸国ではM字のくほみが見られません。その理由として「仕事と子育ての両立支援が充実している」「女性が働きやすい環境が整備されている」「女性も働くことが当たり前という意識が社会にある」などの理由が考えられます。



職場でこんなことはありませんか？

- 来客者へのお茶出しは、女性の仕事と思っていませんか？
- 男性向きの仕事、女性向きの仕事と区別していませんか？
- 補助的な仕事を女性に押し付けていませんか？
- 女性には重要な仕事を任せられないと思っていませんか？
- 育児休業は、女性がとるものという雰囲気がありませんか？
- 女性は、仕事より家庭を優先するものという考えにしばられていませんか？
- 女性に管理職は無理、女性は責任のある仕事につきたがらないと思っていませんか？

“イクメンで ルンルン気分 知ったパパ”

男女共同参画
川柳コンテスト
入賞作品



『育児休業』って どんな制度？

育児を行う労働者のための
両立支援制度です。

- ★原則、子が1歳に達するまでの間、
育児休業を取得することができます。
(※一定の範囲の期間雇用者も対象)
- ★妻が専業主婦の場合や、妻が育児休業
中でも、夫は育児休業を取得できます。

育休をとった先輩パパから一言！

よく、“海外旅行に
行くと人生観が変
わる” っていうけ
ど、私は育休で人生
観が劇的に変わ
りました！

夫婦で子どもに接
する時間が充実し
ていました。1ヵ月、
1週間でも取られ
てはどうでしょ
うか？

同じ体験を経験したことによ
り、ママトークなどを聞いても
女性の気持ちがわかるよう
になった。

実際の
取得率は1.38%
(平成22年度調査)

■両立支援制度の利用意向

	全体	男性	女性
調査数 (n)	1,553	752	801
育児休業制度を利用したい	50.9%	31.8%	68.9%
育児のための短時間勤務制度 を利用中／利用したい	48.9%	34.6%	62.3%

・内閣府「男女共同参画社会の実現を目指して」(平成23年3月)
・厚生労働省「平成22年度雇用均等基本調査」より作成

“なぜだろう 女性の区長 まだいない”



地域活動の要となる自治会の長は今でも男性が多く、佐賀県は女性の自治会長の割合が九州で最も低くなっています。

地域活動や市民活動への参加率は男女とも4割弱であり、性別による違いは見られません。“長”は男性がするものという意識が男性にも女性にも強く残っているのではないかと思います。“長”などの役を薦められたとき、チャンスと受け止め、チャレンジしてみませんか。

自治会長の女性割合（九州）

	自治会 会長数 (人)	うち 女性 (人)	割合 (%)
福岡県	8,183	578	7.1
佐賀県	2,060	30	1.5
長崎県	4,316	147	3.4
熊本県	4,542	106	2.3
大分県	4,121	103	2.5
宮崎県	2,691	89	3.3
鹿児島県	7,031	401	5.7
沖縄県	1,010	87	8.6
全国	231,983	10,033	4.3

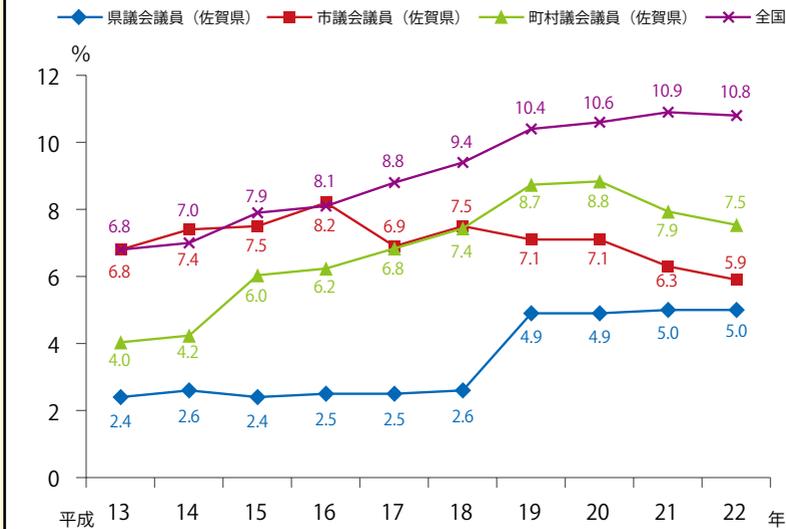
公共的団体における女性参画状況（佐賀県）

	役員 総数 (人)	役員		会長 (人)	会長	
		うち 女性 (人)	割合 (%)		うち 女性 (人)	割合 (%)
社会福祉協議会（県）	11	2	18.2	1	0	
民生委員児童委員協議会（県）	20	5	25.0	1	0	
老人クラブ連合会（県）	30	8	26.7	1	0	
PTA 連合会（県）	22	4	18.2	1	0	
子ども会連合会（県）	22	1	4.5	1	0	
公民館連合会（県）	11	2	18.2	1	0	
公民館館長	135	17	12.6	1	0	

資料：内閣府男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（平成23年度）」

注)平成23年4月1日現在 資料：佐賀県地域福祉課、長寿社会課、社会教育・文化財課調べ

女性議員割合の推移（佐賀県・全国）



注)各年12月31日現在

資料：佐賀県選挙管理委員会調べ、総務省選挙部調べ

佐賀県の女性議員の割合は、市町の議会において、減少が続いています。男女共同参画の視点で防災やまちづくりに取り組むことが重要であり、そのためにも女性の政策参画が求められています。